

回収方法	回収時間	回収場所
周回	午前9時～9時30分	つつじ台 地域学習センター
	午前9時45分～10時15分	陣内地区 公民館分館
	午前10時30分～11時	生涯学習センター 駐車場
	午前11時15分～11時45分	美咲野 中央公園
直接搬入	午前9時～11時30分	緑のリサイクルセンター (日野総合管理)

樹木粉砕車がやってきます
 家庭の庭仕事などで出た剪定枝や木くずを、燃料となる木材チップとしてリサイクルします。処理を希望する人は、期限までに予約をして、緑のリサイクルセンター(日野総合管理)か収集場所までお持ちください(戸別収集は行っていません)。
 ●予約期限 11月19日(金)
 ●実施日 11月20日(土)
 ●費用 無料
 ※木の根、木の実が付いた枝、竹などは、機械故障の原因になるため、収集できません。
 ※直接搬入もできます。希望する人は役場環境保全課まで減免の申請をお願いします。

※詳しくは、町ホームページをご確認ください。



町ホームページはこちら



不要になった携帯電話を回収しています
 都市鉱山の活用と循環型社会の構築を目指し、「アフターメダルプロジェクト」と題して使用済みの携帯電話やスマートフォン専用の回収ボックスを設置しています。このプロジェクトで回収された小型家電は、選別・解体処理を障がい者が行うことで地域の雇用促進につなげています。また、地域スポーツ大会で使用されるメダルの原材料や知的障がい者のスポーツ大会支援、教育機関での備品購入などに充てられます。

回収場所 役場2階 環境保全課
回収品目 携帯電話・スマートフォン
注意事項 本体に記憶されている個人情報などは消去してください。一度回収したものは返却できません。

連載「人権シリーズ」
輝く人権
 ●問い合わせ
 役場人権推進課 人権推進係
 ☎096(293)0863
 大津北中学校で人権教育主任の丸山輝高さんに話を伺いました。
子どもたちに対する人権学習の思い
 大津北中学校では、教育の根幹に人権教育を据え、教育活動全体を通じて人権教育に学校が一丸となって取り組んでいます。部落差別をはじめあらゆる差別をなくす取り組みの中心として年2回の人権学習とクラスミーティングがあります。
 人権学習では、一年生が「水俣病問題」と「部落問題」、二年生が「ハンセン病問題」と「部落問題」 水平社宣言に学ぶ、三年生が「来民間拓団の真相に学ぶ」と「統一応募用紙の闘い」のテーマで部落差別をはじめあらゆる差別を学びます。
 自分の思いや願いを振り返り、互いに伝え合う教育活動のためにクラスミーティングを行っています。自分の悩みを安心して相談し合える関係になることで差別をしない、差別を許さない集団としてのつながりになると思っています。そこに担任の先生だけではな

く、職員全員が同じ目線で生徒と共に考え、差別を許さない学校を築き上げていきたいと思っています。
人権教育主任としての思い
 最先端の人権教育の在り方を学び、さまざまな研修や集会に参加することで、自分自身の中にある差別心に気づくことができました。自分自身を振り返ることで差別をしない、許さない自分になっていくことに喜びを感じています。その思いを他の職員と共有していくことが大切だと思っています。
 職員が人権学習に取り組む、自分自身の事を見つめ、差別をしない、許さない人間になるために私ができるサポートを精いっぱいしていきたいと思っています。それが最終的には生徒の人権意識の向上につながり、生徒一人一人が輝ける未来を切り拓くことができると思います。誰かが辛い時にそっと寄り添い、自分が辛い時に安心して思いを話せる学校でありたいと思っています。

特設人権相談会
 人権擁護委員が人権相談にあたります。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。
 ●日時 11月26日(金) 午前10時～午後3時
 ●場所 町役場2階会議室

おおづのしごと 大津町企業連絡協議会 vol.26

株式会社 MAP 熊本工場
 ~ Honda グループのアルミニウムリサイクル企業 ~

株式会社 MAP 熊本工場 (旧名アリス三洋) は、アルミニウム製造工場として1994年7月にホンダトレーディングと三洋アルミ合弁で設立しました。2013年10月には国内拠点(群馬/埼玉/熊本)を統合し、株式会社 MAP に社名変更いたしました。

海外グループ企業(親会社資本)は中国とインドネシアに拠点を構えており、主に二輪・汎用・四輪の部品原料として Honda グループ向けにアルミニウムの地金・溶湯を供給する会社です。

アルミニウムはリサイクルに優れ、循環型社会の一翼を担っており、今後も社会に貢献し、必要とされる企業であり続けるよう努力してまいります。

代表取締役社長 島代 裕一 さん

【企業概要】
 ●所在地 大津町平川1740-1
 ●業種 製造業(非鉄金属)
 ●従業員数 56人
 ●事業内容 アルミニウム合金の製造、販売
 ●連絡先 ☎096(293)1515
 ●ホームページ <https://www.hondatrading.com/en/company/htgroup/japan/ja/MAP/>

株式会社 MAP 熊本工場 🔍検索



連載「人権シリーズ企画①」
きらめく男女
 ●問い合わせ
 役場人権推進課 男女共同参画推進係
 ☎096(293)0863
 日頃は、庭師をしながら娘2人と息子1人の父として、仕事と子育てに奮闘しています。この度、令和3年4月から男女共同参画審議会委員として委嘱を受けました。参加したきっかけは、これまで地域のボランティアやPTA活動などを精力的に取り組んできたこともあり、子育て世代の代表として参加してもらいたいと声を掛けられたことでした。最初は、「男女共同参画」の言葉の意味さえ分かりませんでした。が、挑戦してみることになりました。
 造園業という仕事柄、夫婦で協力して仕事をしていきますが、家事や子育ての多くを妻に任せていました。しかし、末っ子に元気な男の子が生まれたことで、夫婦で協力して子育てをするようになり、それから任されることも増え

大変だと感じることもありますが、何でも楽しみながらやるようにしています。
 子どもの成長に合わせ、PTA役員なども引き受けましたが、これまで男女共同参画の視点などは意識したことがありませんでした。この機会に、ゼロから学ぶつもりですが、特に「男性にとっての家事・育児への参画」を意識して学びたいと考えています。
 コロナ禍の影響により社会の働き方は大きく変化しましたが、共働きで仕事をしても女性が家事・育児の役割の多くを担うといった慣行が深く根付いているように感じています。自分は夫婦で仕事をしているので、役割分担や仕事も調整がしやすい環境ですが会社に勤めている人などはワーク・ライフ・バランスを実現することが難しいこともあると思います。今後も働き方が日々変化していく状況にあると思うので、時代を味方につけながら、仕事と子育てを両立しやすい環境に変わっていくことを期待しています。
 今後、子育てを通して自分らしさを活かした活動を続けていきたいと思っています。子育て奮闘中の皆さん、親である時間を楽しみながら、頑張りすぎない子育てをみんなで作っていきましょう。

大津町男女共同参画審議会委員 内村 勇治 さん